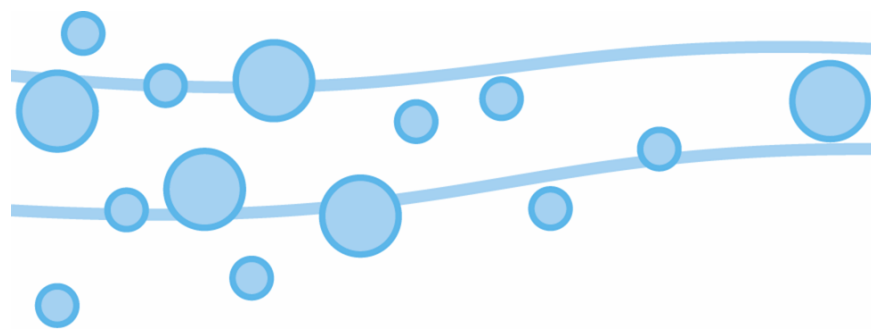


# セミナーWG 平成23年度 活動報告

平成23年12月25日

特定非営利活動法人日本システム監査人協会  
近畿支部 セミナーWG



# メンバー紹介

## 【主査】

三橋 潤 (日本ユニシス株式会社)

## 【メンバー】

吉田 博一 (大阪府)

是松 徹 (オムロン株式会社)

広瀬 克之 ((株)ナレッジ, ヒューマン&テクノロジーズ)

荒町 弘 (株式会社内田洋行)

吉谷 尚雄 (有限会社吉谷コンサルティング事務所)

鬼松 嵩 (情報システム監査株式会社)

松本 拓也 (情報システム監査株式会社)

岡谷 亨 (富士生命保険株式会社)



# セミナーWG会合状況

回	開催日	人数	会議内容
第1回	H23.02.22	5	平成23年度のセミナー活動概要計画、スタッフの構成等について打合せ
第2回	H23.03.15	7	スタッフが3名増強し8名体制となる。セミナーの配布用チラシや教材について打合せ
第3回	H23.04.14	8	ロールプレイ配役、役割分担やセミナー関係の備品調達等について打合せ
第4回	H23.05.19	7	入門セミナーの教材に沿って内容のレビューを行い教材をほぼ確定
第5回	H23.06.11	8	入門セミナーの座学教材のレビューと、教材の最終確認
第6回	H23.07.05	6	入門セミナーの反省と課題解決セミナーの確認
第7回	H23.07.16	4	課題解決セミナーの予行演習
第8回	H23.08.04	4	実践セミナー教材打合せとロールプレイ配役決定
第9回	H23.08.27	6	実践セミナーのロールプレイ・シナリオの確認
第10回	H23.09.05	4	実践セミナー開催準備状況の最終確認と打合せ
第11回	H23.09.17	7	実践セミナーの予行演習を実施
第12回	H23.10.18	7	実践セミナー受講者の評価および合否判定実施
第13回	H23.11.24	6	反省会

6月25日  
入門セミナー開催

7月23日  
課題解決セミナー開催

9月23,24日  
実践セミナー開催



# セミナーWG活動概況（1）

## ■ 平成22年度の活動を振り返って

- ▶ 近畿支部では昨年平成22年度に3種類のセミナーを4コース開催した。  
3種とは、「**入門セミナー**」、「**課題解決セミナー**」、「**実践セミナー**」であるが、それぞれをシステム監査に関する知識習得・体験度合いで、「**初級**」、「**中級**」、「**上級**」と位置付けて開催した。
- ▶ **初級**である入門セミナーは「**システム監査って、何？**」という副題をつけ、システム監査の概要講義と簡単な模擬監査を経験できるロールプレイもあるセミナーで6月と7月の2回開催した。
- ▶ **中級**である課題解決セミナーは「**システム監査は、どう役に立つの？**」という副題をつけ、本部事例研究会から講師を招き、過去に発生した重大なシステム障害を事例にしてシステム監査の有効活用を紹介するセミナーで8月に開催した。
- ▶ **上級**である実践セミナーは「**システム監査は、どう実施するの？**」という副題をつけ、1泊2日でロールプレイ中心に、たっぷりとシステム監査を体験できるセミナーで、9月に三洋電機研修センターをお借りして開催した。

コース	入門#1	入門#2	課題解決	実践
受講者数	6名	11名	22名	9名

## セミナーWG活動概況（2）

平成23年度も昨年に引き続いて、

入門セミナー・課題解決セミナー・実践セミナー の3種類のセミナーを、  
初級・中級・上級コース と位置付けて開催することを決定。

- ・ **入門セミナー**：6月25日（土）常翔学園大阪センター（受講者 5名）
- ・ **課題解決セミナー**：7月23日（土）常翔学園大阪センター（受講者 8名）  
★ 講師は近畿支部セミナーWGメンバーで実施
- ・ **実践セミナー**：9月23、24日（金、土）第一サニーストーンホテル  
（受講者 6名）

# 平成23年度の入門セミナー 紹介

10:00

オープニング(挨拶)

システム監査についての講義(座学 40分)

演習(1) ヒアリング用チェックシート作成(60分)

演習(2-1) 電算課長からヒアリング(20分)

演習(2-2) 営業部長からヒアリング(20分)

演習(3) 監査報告書の作成(60分)

演習(4) 監査報告会(15分/チーム)

17:00

質疑応答・講師講評 (セミナー終了)

事前郵送資料で、被監査会社の概要、組織図、依頼者の意向、および発生している問題点等を事前に知らせている。システム監査計画書もほぼ出来ている状態にしている。

事前郵送資料で、ヒアリングシートには幾つかの例題を載せている。チーム別で、電算課長と営業部長からヒアリングする。

システム監査報告書の作成ポイントや記載例を説明。監査報告会はチーム毎に内部監査部長への報告する形式。



# 平成23年度の課題解決セミナー 紹介

13:00

オープニング(挨拶)

事例講義:「大手電機メーカー受発注・物流情報システムの不具合で一部取引停止」(90分)

簡易演習:「医療機器メーカーの統合システム構築工程の障害」(90分)

講義(まとめ):「リスク管理とシステム監査」(30分)

17:00

質疑応答・講師講評 (セミナー終了)

- ・事故・障害事例を把握する。
- ・事例の問題事象を考える。
- ・リスクを考える。
- ・簡易演習もあり。

評価  
ポイント

明

(めい)

周

(しゅう)

承

(しょう)

見

(けん)

記

(き)

合

(ごう)

存

(そん)

# 課題解決セミナー 紹介(2)

評価ポイントは、以下の7つの観点から考えます。

ポイント		内容
①	明(めい)	明文化(=明確化)しているか？
②	周(しゅう)	周知徹底しているか？
③	承(しょう)	承認しているか？
④	見(けん)	見直し(レビュー)しているか？
⑤	記(き)	記録しているか？
⑥	合(ごう)	合意しているか？
⑦	存(そん)	存在しているか？

「明・周・承・見・記・合・存」は当協会員原田奈美氏の創作です。



# 平成23年度の実践セミナー 紹介

1日目

13:00

オープニング(挨拶)

システム監査についての講義(40分)

依頼者意向確認とトップインタビュー  
(準備を含めて 50分)

予備調査の準備・インタビュー・まとめ  
(110分)

監査個別計画の作成(90分)

監査個別計画の発表(10分/チーム)

監査個別計画書の見直しと  
本調査準備(80分)

21:00

懇親会

1泊2日

2日目 9:00

本調査の準備・インタビュー  
(150分)

本調査の纏めと  
監査報告書の作成(120分)

システム監査報告会  
(20分/チーム)

講師講評・監査事例紹介

質疑応答・講師講評  
(セミナー終了)

16:30

# セミナー開催の楽屋裏

## ★入門セミナー受講者のターゲット

- ・システム監査の言葉は知っているが、実際何をするのか「知らない→知りたい」人向けのコース。情報システムを4, 5年経験している若手を想定。

⇒ 今年の受講者プロフィール: 公認会計士、SI'erの役員、情報システム部員、監査部員x2

## ★入門セミナーとしての工夫

- ・問題点は最初から明らかにしてある。問題点の原因究明と改善策を追求する形式。
- ・日本システム監査人協会のセミナーらしく、「ロールプレイ」あり！

## ★課題解決セミナー

- ・本部事例研究会で2年前に開発された教材。
- ・問題事象について深掘りした内容の講義と簡易演習。
- ・ある団体の知識ポイントを獲得できる → 集客力UP。
- ・受講者ターゲットは「情報システム部門」のベテランや管理者層。

## ★実践セミナー

- ・今年度より教材を「Z社」から「d社」に変更した。
- ・悩みは受講者の確保！ → 「早割り」、「チラシ配り」、「HP掲載」、「情報バンクへの登録」等、努力してありますが・・・。

# セミナー受講者の評価（入門）

## ■ システム監査入門セミナー アンケート結果

開催日: 2011/06/25(土)

	Aグループ		Bグループ		
	A1 (男) (50代)	A2 (女) (40代)	B1 (男) (30代)	B2 (男) (40代)	B3 (女) (30代)
1. 全体の印象					
<input type="checkbox"/> 期待通り	○		○		○
<input type="checkbox"/> ほぼ期待通り		○		○	
<input type="checkbox"/> 多少期待外れ					
<input type="checkbox"/> 期待外れ					

期待以上です。(A1)

システム監査のイメージがなんとなく把握できました。(B2)

システム監査の知識はまったくなかったため、今日一日でシステム監査の概要・枠組みは知ることができたと思います。期待とおりでした。(B3)

2. 有益度(高い=4、やや高い=3、やや低い=2、低い=1)						平均
(1) 講義(システム監査概要)	4	3	4	3	4	3.6
(2) 演習(ケーススタディ)説明	4	3	3	4	4	3.6
(3) 演習1: チェックリストの作成	3	4	3	4	3	3.4
(4) 演習2: 監査の実施	4	4	4	4	4	4.0
(5) 演習3: 監査報告のまとめ	4	4	4	4	4	4.0
(6) 演習4: 監査結果発表	4	4	4	4	4	4.0
平均	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8

ロールプレイが良かったです。(B1)

監査のまとめにももう少し時間がとれれば良かったと思う。(B2)

監査の実施は特に有益でした。質問の内容を考えるのは難しくかったですが、大変勉強になりました。(B3)

(4), (5), (6)は全員満点！

### 3. セミナー運営・進行(非常に良い=4、良い=3、悪い=2、非常に悪い=1)

(1) 日程・時間帯の設定	4	3	4	4	3	3.6
(2) 時間配分	4	3	4	3	4	3.6
(3) 全体進行	4	3	4	3	4	3.6
(4) カリキュラム	4	4	4	3	4	3.8
(5) スタッフ	4	4	4	3	4	3.8
(6) 演習会場(場所)	4	3	4	4	3	3.6
(7) 演習会場(設備)	4	3	4	4	4	3.8
(8) 募集方法	3	3	3	3	3	3.0
(9) 参加費用	4	3	4	4	3	3.6
平均	3.9	3.2	3.9	3.4	3.6	3.6

### 4. その他

非常に良い経験となりました。これまでシステム監査に興味が無かったですが興味を持つことができました。(A1)

もう少し、グループの人数が多くと、いろんな意見が出て良いのではと思いました。(A2)

名札の名前がもう少し大きい方が良いと思います。(B1)

ありがとうございました。(B3)

# セミナー受講者の評価（課題解決）

2.本セミナーについて	内容は理解できましたか？					時間配分はわかりがでしたか？					設問の仕方はわかりがでしたか？						
	理解できた	やや理解できた	やや難しかった	とても難しかった	未記入	長すぎた	ちょうど良かった	短すぎた	不要だった	未記入	簡単すぎた	ちょうど良かった	やや難しかった	とても難しかった	不適切だった	わかりづかった	未記入
①事例講義「大手電機メーカーの受発注・物流システムの障害」	19	3	0	0	0	1	18	2	0	1							
②簡易演習「医療機器メーカーの統合システム構築工程の障害」	14	6	1	0	1	5	9	6	0	2	4	11	3	0	1	1	2
③講義(まとめ)「リスク管理とシステム監査」	18	4	0	0	0	0	15	5	0	2							
小計	51	13	1	0	1	6	42	13	0	5	4	11	3	0	1	1	2

④本セミナーはあなたの仕事／学習に役立ちましたか？	
役立つ	15
やや役立つ	7
あまり役立たない	0
全く役立たない	0
⑤講師の姿勢はどうでしたか？	
とても良い	13
やや良い	6
普通	2
やや悪い	0
とても悪い	0
？	1

3.自由にご意見をお書きください。	
No.01	・受講ご際し御配慮いただき、ありがとうございました。 [会社員(監査系)]
No.04	・講師の説明は、もう少し明確にして頂くとより判り易くなると思います。 [会社員(情報技術系)]
No.05	・有意義なセミナー ありがとうございました。 [会社員(情報技術系)]
No.08	・ご苦労様でした。 [会社員(情報技術系)]
No.09	・気づきもあって、良かったです。 [経営者]
No.17	・事例をベースに演習を適度に取り込んだ講義は、参加型であり集中力が良い具合に継続できました。 [会社員(マーケティング系)]
No.18	・リスクとコントロールを結びつける為の時間・考える時間が欲しかった。 [会社役員]
No.20	・勉強になりました 特にお明・周・承・見・記・合・存の仕組みをお教えいただき、ありがとうございました。 [自営]





# セミナー受講者の評価（実践）

## ■平成23年近畿支部実践セミナー（H23/9/23,24） アンケート集計

各項目5段階評価（高い=5, 4, 3, 2, 1=低い）

1.	今回のセミナー受講の全体の印象をお聞かせ下さい。	4.8
2.	下記のカリキュラムについて、全体の構成からみた有益度を記入して下さい。	4.3
3.	下記の教材について、（貴方にとっての）有益度を記入して下さい。	4.2
4.	セミナー運営・進行について、評価をして下さい。	4.2
	1～4の平均点	4.4

昨年の受講者2名  
が参加（リピータ）！

### 【自由記述欄から抜粋】

#### 1. 今回のセミナー受講の全体の印象をお聞かせ下さい。

- ・ロールプレイ中心での実践は良いと思う。 ・参加してよかったです。費用に見合う効果がありました。
- ・ロールプレイ方式の研修は自分にとっても役に立ちました。インタビュー時間の30分間は短いと感じたのであと10分間延長して欲しい。
- ・昨年以来2度目の受講でしたが、今年も丸二日間、内容の濃いセミナーだったことに満足しております。運営に携った方々、参加者各位に御礼申し上げます。
- ・終了時にどっと疲れ、少したつと良かったと思えてくる独特なセミナーは今回も期待通りでした。

#### 2. 下記のカリキュラムについて、全体の構成からみた有益度を記入して下さい。

- ・インタビューのやり方や表現方法など、上手な聞き出し方がむづかしい。 ・1日半を手順に沿って有意義に使えました。
- ・レベル的にはやや高めであると思いますが、レベル4又は5クラスの内容がよいと思います。
- ・時間が無い中で、一連の作業をチームでこなす緊張感を持った習得率の高いセミナーです。
- ・トップインタビューの時間は、もう少し欲しかったです。10分→20分くらい。

#### 3. 下記の教材について、（貴方にとっての）有益度を記入して下さい。

- ・外部委託先との事例は勉強になりました。 ・赤本の使い方が、ステップアップしました。
- ・演習課題説明を読込む時間がなかったので早めに配布されることもご検討下さい。
- ・当日配布された資料は、当日見る時間がほとんどなく、じっくり分析出来ませんでした。事前配布のほうが良いと思います。

#### 4. セミナー運営・進行について、評価をして下さい。

- ・時間配分については、予備調査、本調査ともあと10分間の延長して欲しい。
- ・手際よく進行頂けて良かったです。
- ・調査準備、調査の実施および調査のまとめの一連の作業が非常にタイトであり、もう少し長めの設定が必要。（但、そのタイトが魅力的ですが）

#### ★その他、お気づきの点、改善点 などがありましたらご記入下さい。

- ・また次回も参加したいと考えています。力量アップする上でも有効な研修でした。ありがとうございました。
- ・普段は被監査部門にありますが、監査側の見方を学べて、今後の業務に活かしたいと思います。
- ・今回チーム毎 別室で作業しましたが、是非同じ場所で他チームとの触れ合いを取れる配慮をお願いします。
- ・チームは、3人だと書記役も必要なので、4人くらいはいないと、なかなか議論が盛りあがらなかったです。

# 今後のセミナーの有り方・課題

## ■ 現在のセミナーの好評価な点

- ・入門・実践セミナーは、**ロールプレイ**による「参加型セミナー」である。
- ・**グループ討議**で問題・課題を探る形式も好評。

## ■ 今後の課題(中長期的課題) ⇒ 教材の改訂検討が必要

### ・実践セミナー教材の陳腐化・・・

- ⇒ 情報システム・ネットワークの構成が古い、問題点・指摘事項の常識化。
- ・しかし、教材を新規作成するには**膨大なマンパワーと最新知識・技術力が必要!**
- ・もともと初級、中級、上級用として教材がデザインされていない。講義(座学)の見直しが必要。

## ■ 来年度の課題

- ・入門セミナー、実践セミナーを継続して開催する。
- ・集客力upを目指して、広報活動の強化策検討。
- ・他支部でのセミナー開催支援検討と実施。  
⇒平成24年2月18日九州支部で入門セミナー(名称:体験セミナー)開催予定。  
(H22年は中部支部で入門セミナー開催)

以上。。

